

■ 全体講評

今回の公開模試 AP 午後の問題は、一部に正答率の低い問題が見られたものの、全体として難易度は例年並みと見受けられます。今回の模試を力試しの良い機会と位置付けて、成績が芳しくなかったとしても点数にとらわれることなく、できなかった問題の復習を行って理解を深めましょう。

AP の午後試験は記述式の問題形式で、テクノロジー系、ストラテジ系、マネジメント系、組込みシステム系の問題で構成される全 11 問のうち 5 問を選択解答します。問 1 のセキュリティ分野の問題は必須ですので、残りの 10 問から 4 問を選択することになります。まず、この問題選択をいかに的確に行うかが試験突破には重要です。

試験では自分が選択した問題を○印で採点者に示す必要があります。今回の模試では、自分が選択した問題に○を付け忘れていた人、自分が解答した問題とは異なる箇所に○を付けている人、問題番号を○で囲まずにその横の得点記入欄に○を付けている人が散見されました。このような解答要領違反は、解答の良し悪しの前に採点されないこともありますので、問題冊子にある指示に従って確実に問題を選択してください。また、試験の途中で選択を変更した場合も忘れずに反映させるように留意してください。

AP 午後試験では、問題の分野が多岐に亘ります。解答に際しては時間配分にも注意が必要です。併せて、どの問題を選択するかは十分に対策を考えておかなければなりません。自分自身が普段従事している業務の特性や経験などから、アルゴリズムやデータベースを苦手としている人がいます。また、ストラテジ系やマネジメント系が得意であるという人もいます。選択する問題の分野を広く考えておいて、試験本番に問題を見てから選択問題を絞り込むことも戦略として有効です。どの問題を選択するかが合否に大きく影響しますので、よく考えて問題選択を行うように意識しましょう。そして、選ぶべき問題の分野はしっかりと学習するようにしましょう。特に知識の有無が問われる問題では、前提となる十分な知識量が頭に入っていないと合格水準の得点を得ることは難しくなるでしょう。その観点からも、今回の模擬試験では比較的均等に難易度が設定されています。

解答方法の全体的な注意点として、問題文や設問文をよく読むことが挙げられます。解答のヒントや解答

そのものが文中に書いてあることもあり得ますし、解答表現の方向性を示していることもあり得ますので、それらの情報をしっかりと読み取りましょう。設問の意図を無視した独りよがりの解答をしないよう十分な注意が必要です。自らの業務経験に引っぱられて設問要求に答えていなかったり、逆に応用情報技術者にそぐわない俗っぽい表現を用いたりしないように注意することは大切です。

IT のバックグラウンドをもたない方の受験も増えており、ストラテジ・マネジメント系の問題を選択する傾向が高まっています。これらの系統の問題では、問題文の文脈に沿って解答根拠を把握したうえで解答しなければならぬ傾向が強く、解答表現には細心の注意が必要です。テクノロジー系の問題ではキーワードをしっかりと押さえることが重要になります。なお、今回の解答の中には誤字や脱字がかなり多く見られました。各問題の講評でも記していますが、キーワードとなり得る語句を漢字で書ける、正しいカタカナや英語で書けるように、知識のインプットとアウトプットの両方を意識して学習しましょう。

解答用紙への記入に当たっては、濃くはつきりとした字を心掛けましょう。乱雑に書きなぐったような字は採点者の印象が悪くなる可能性がありますし、正しい解答であっても誤字と認識され減点される可能性もあります。

今回の試験結果を糧とし、本試験までの残された日々を粘り強く、「絶対に合格する」という強い意志をもって進んでください。本番でご自身の力を最大限発揮できることを期待しております。

<午後>

問 1 マルウェア対策の強化

【採点基準】

〔設問 1〕

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。「対応前」という時間的な記述が含まれていない解答は、原則として 0 点としました。

〔設問 3〕

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

その他は解答例どおり。

【講評】

マルウェア攻撃に関する基本的な知識と、サイバークルチェーンに基づいたセキュリティ対策の理解について問う問題でした。正答率が比較的低いと感じられたのは、[設問1](1)空欄 a, [設問2](1)空欄 c, 及び[設問3](3)でした。[設問2](1)は番号ではなく語句をそのまま記載した解答がかなり多く見受けられました。設問文をしっかりと読んで何を解答として求められているかを確認するようにしましょう。また、[設問3](1)空欄 e の解答として「2段階認証」という解答がかなり多く見られました。

問2 情報システム戦略の策定

【採点基準】

[設問2]

(1) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し3点。「効率的」、「競争優位」、「品質向上」、「短納期」といった生産性に関する語句が含まれていない解答は、減点としました。

[設問3]

(3) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し3点。

「ログの取得」、「操作記録の取得」といった内容が含まれていない解答は、減点あるいは無得点としました。

(4) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し4点。「迅速」に類する語句が記されていない解答は、減点としました。

その他は原則として解答例どおり。

【講評】

バリューチェーン分析やRPA導入の場合の注意点に関する理解を問う問題でしたが、全体的に良くできていました。記述式解答についてはそれぞれの設問におけるキーワードを含めた解答ができていました。

[設問2](1)では、「独自技術」、「効率的な生産活動」、「短納期対応」といった競争優位に関するキーワードを拾って解答にうまくまとめることが必要です。[設問3](1)空欄 e では、「単純作業」、「定常作業」、「定例作業」といった解答が多く見られましたが、「定型」とのニュアンスの違いを理解するようにしてください。

問3 構文解析

【採点基準】

解答例どおり。

【講評】

構文解析プログラムのアルゴリズムについて、表記法に沿って丁寧に定義の内容を読み取れるかが問われていました。全体的には良くできていました。構文規則の内容、字句解析関数の役割、構文解析プログラムの概要について、本試験までに知識を整理しておきましょう。

問4 Webシステムの強化

【採点基準】

[設問1]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し4点。「複数のサーバ」、「順番に返す」という意味が含まれている解答には、原則として1~2点の部分点を与えています。

[設問3]

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し4点。「復旧」、「バックアップ」の主旨が含まれている解答は、原則として正解としています。

[設問4]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し4点。

その他は解答例どおり。

【講評】

ネットワーク、データベースの知識や、Webシステムの強化に向けたプロセスについて問われていました。DNSサーバによる負荷分散の考え方、直列と並列の場合の稼働率の計算、また、[設問3]で問われている用語については正しく理解しておきましょう。[設問1]の記述解答はかなり広めに正解として採点していますが、解答例を基にどのような書き方をすればよいかを確認しておいてください。

問5 社内ネットワークの監視システム

【採点基準】

[設問2]

(3) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し3点。その他、スパニングツリーの状況に関して述べられていた解答は、原則として正解とするか、部分点を与えています。

[設問3]

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し5点。「SNMPの再送機能」、「有効化」、「再計算完了後に検知可能」のいずれかに触れられている解答には、原則として部分点を与えています。

その他は解答例どおり。

【講評】

社内ネットワーク監視に関する技術的な問題でした。ICMP や SYSLOG といった基本的なテーマであるものの、解答に当たっては応用的な知識が必要でした。しかし、設問上で条件が明記されているので、比較的取り組みやすかったといえます。

【設問3】(2)は比較的正答率が低かったため、採点基準を若干広めにとっています。その他の設問はおおむね良くできていました。

問6 販売分析システムのデータベース設計・運用

【採点基準】

【設問2】

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し2点。

【設問3】

(1) 正しくない項目名：二つとも正答で1点

理由：解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し1点。「人事異動」に起因した理由を解答できていれば、原則として正解とするか、部分点を付与しています。

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し2点。「社員へのSV番号の付与」や社員に紐づく情報のアップデート、更新を主旨とした解答には、原則として部分点を与えています。

その他は解答例どおり。

【講評】

販売分析システムのデータベース設計・運用に関する出題でした。【設問1】は範囲が多岐にわたっていますが、問題文中のヒントを拾って解答できるかがポイントでした。

【設問2】のSQL文はやや難解ですが、穴埋めの難易度は普通レベルで設定されています。(2)の正答率は極めて低いものでした。【設問3】(1)の正しくない項目名については完答で1点としています。正解であった場合でも自身の解答と解答例を比較して、キーワードを拾えているか、ロジックが正しいかを確認してみてください。

問7 5G通信回線を活用した遠隔手術システム

【採点基準】

【設問1】

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し3点。「タイムラグ」、「遅延」といった時間的な差異の発生について触れられている解答には、原則として部分点を与えています。

(3) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し3点。熟練医師の「操作」に加えて、「ノウハウ」、「知見」を再現する主旨の解答には、原則として部分点を与えています。

【設問3】

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し4点。「どちらか片方のマニピュレータでのみ操作できるようにする」といった解答例と同様の意味の解答も、正解としました。

その他は解答例どおり。

【講評】

遠隔手術システムをテーマとした組込みシステム開発からの出題でした。【設問1】では、操作卓と手術台の間でどのようなデータのやり取りをするかを把握できるかがポイントになりました。全体的に良くできていましたが、「制御」の漢字を誤っている解答が散見されました。【設問2】の正答率は低めでした。求める条件や単位に注意しながら計算することが必要です。【設問3】では、近年普及している5G通信回線による遠隔技術に関する問題でしたが、良くできていました。

問8 コインパーキングの設計

【採点基準】

【設問3】

(1) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し4点。ゲート方式に対する解答のみならず、ロック板方式での解答も、解答例に沿ったものであれば正解としています。

【設問4】

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し3点。「3分」のみならず「5分」の状態について説明した解答も、原則として正解としています。

その他は解答例どおり。

【講評】

駐車管理や課金プログラムの設計に関する問題でした。身近な設備がテーマのためイメージが付きやすかったせいか、おおむね良くできていました。状態遷移やフローチャートは試験の頻出テーマであり、ケアレスミスが生じないようにしっかりと理解した上で取り組むことで、得点源とすることが可能です。【設問2】では時刻ではなく関数での解答も散見されました。

問9 プロジェクトの変更管理

【採点基準】

[設問 1]

(1) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。U 社社員に触れていなくても「CCB が V 社の社員のみメンバ構成である」、あるいは「業務の分かる社員がいない」といった記述も、原則として正解としました。

[設問 4]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

その他は解答例どおり。

【講評】

ウォータフォール開発とアジャイル開発の変更管理をテーマとした出題でした。CCB (変更管理委員会) のメンバ構成や変更要求の条件を把握した上での判断能力が必要となります。問題文を丁寧に読んで状況把握をしっかりと行うことがポイントです。

[設問 1]は比較的高い正答率でした。CCB のメンバ構成から変更要求が容易に採用されない可能性を読み解けていました。[設問 2]の利益計算は低い正答率でした。[設問 3]では「業務委託契約」、「請負契約」といった解答が目立ちました。準委任契約も含めた労働者の契約形態は頻出テーマですので、知識を整理しておきましょう。

問 10 インシデント管理

【採点基準】

[設問 1]

(1) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。様々な解答が見られましたが、原則として DMZ の特徴を盛り込んだ解答を正解とし、それ以外の解答についても内容に応じて部分点を与えました。単なるリスクについての説明と読めるような解答は、原則として不正解としました。

[設問 2]

(2) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。

[設問 3]

(1) 解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。

(2) 「RAID1」や「ミラーリング」について触れられた解答には、原則として部分点を付与しました。

その他は解答例どおり。

【講評】

退職者による個人情報の持ち出しに対するインシデント管理がテーマでした。[設問 1]では DMZ ネットワーク内にアプリケーションサーバを置き、DB

サーバを社内ネットワークに置く理由を答えられるかがポイントでした。[設問 2](2)は非常に良くできており、正答率は高かったです。配点も高く得点源とした問題です。

[設問 3](2)では「HDD#0 の交換」という解答が目立ちました。問題文では、システムを停止して HDD#0 を交換するとしていて、手順①で RAID1 構成を解除した上で HDD#1 が正常に動作することを確認しています。

問 11 スクール管理システムの監査

【採点基準】

[設問 2]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。「キャンセル特別処理」について触れられている解答は、原則として正解としました。

[設問 3]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。「マスキング処理」だけでなく個人情報を「秘匿する」主旨の解答は、原則として正解としています。

[設問 5]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。一時停止の「解除」について触れられていない解答は、原則として減点しました。

[設問 6]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。「多言語スクールの実現を目指している」とことと、「外国語に関する種別」を設けることのいずれかに触れられている解答には、原則として部分点を付与しています。

[設問 7]

解答例同様の主旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。「ID が別々に管理されている」というニュアンスが含まれている解答は、原則正答としています。その他は解答例どおり。

【講評】

英会話スクールを題材としたスクール管理システムの監査をテーマとした出題でした。全体的に良くできていた答案が目立ちました。しかし、[設問 1]は低い正答率でした。問題のキーポイントとして、オンライン生徒と対面レッスン生徒、2 種類の ID を念頭に置いた監査であることを踏まえて、問題文中を探していくことが必要でした。その他の設問については、おおむね正答が導けていました。

以上